

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】平成28年3月24日(2016.3.24)

【公表番号】特表2015-517026(P2015-517026A)

【公表日】平成27年6月18日(2015.6.18)

【年通号数】公開・登録公報2015-039

【出願番号】特願2015-501642(P2015-501642)

【国際特許分類】

C 2 2 C	33/02	(2006.01)
B 2 2 F	3/14	(2006.01)
B 2 2 F	3/20	(2006.01)
C 2 2 C	45/02	(2006.01)
C 2 2 C	45/10	(2006.01)
B 2 2 D	17/00	(2006.01)

【F I】

C 2 2 C	33/02	E
B 2 2 F	3/14	D
B 2 2 F	3/14	1 0 1 B
B 2 2 F	3/20	C
C 2 2 C	45/02	Z
C 2 2 C	45/10	
B 2 2 D	17/00	

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年2月4日(2016.2.4)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

バルク金属ガラス(BMG)を含む原料を製造する方法であって、粉末を圧密する工程を含み、

前記粉末が、前記BMGの元素を含み、前記粉末中の前記BMGの前記元素が、前記BMGのものと実質的に同じ重量パーセントを有し、

前記粉末は結合剤と共に圧密され、

前記結合剤は、前記BMGの前記元素の1つ、又は、前記BMGの複数の元素の複合体である、方法。

【請求項2】

前記粉末が、粉末状の前記BMGを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記粉末が、前記BMGの複数の元素の複合体を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記粉末が、前記BMGの複数の元素の合金を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記結合剤が、前記粉末の融解温度で蒸発する材料である、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記粉末がシース内に圧密され、前記シースは前記粉末の融解温度で溶融しない、請求

項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

B MG を含む原料を製造する方法であって、粉末をシース内に圧密する工程を含み、
前記シースが、前記粉末の融解温度で溶融し、
前記粉末及び前記シースが合わせて前記 B MG を含み、
前記粉末中の前記 B MG の元素が、前記 B MG のものと実質的に同じ重量パーセントを
有し、
前記粉末は結合剤と共に圧密され、
前記結合剤は、前記 B MG の前記元素の 1 つ、又は、前記 B MG の複数の元素の複合体
である、方法。

【請求項 8】

前記粉末が粉末状の前記 B MG を含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記粉末が、前記 B MG の複数の元素の複合体を含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 10】

前記粉末が、前記 B MG の複数の元素の合金を含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 11】

前記結合剤が、前記粉末の融解温度で蒸発する材料である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 12】

前記粉末が、ホットプレス、コールドプレス、押出成形、又は急速放電焼結により圧密
される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 13】

前記粉末が、ホットプレス、コールドプレス、押出成形、又は急速放電焼結により圧密
される、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 14】

B MG を含む原料から部品を製造する方法であって、
前記部品の望ましい組成の各元素の重量が、粉末中の前記 B MG の元素の重量に本質的に等しくなるように、前記部品の重量及び前記望ましい組成に基づいて、前記粉末の重量及び組成を決定する工程と、
前記原料を形成するために前記粉末を圧密する工程と、
を含み、
前記粉末が結合剤と共に圧密され、
前記結合剤は、前記 B MG の前記元素の 1 つ、又は、前記 B MG の複数の元素の複合体
である、方法。

【請求項 15】

B MG を含む原料から部品を製造する方法であって、
前記部品の望ましい組成の各元素の重量が、粉末中及びシース中の前記 B MG の元素の
合計重量に本質的に等しくなるように、前記部品の重量及び前記望ましい組成、並びに、
前記シースの重量及び組成に基づいて、前記粉末の重量及び組成を決定する工程と、
前記原料を形成するために前記粉末をシース内に圧密する工程と、
を含み、

前記粉末は結合剤と共に圧密され、
前記結合剤は、前記 B MG の前記元素の 1 つ、又は、前記 B MG の複数の元素の複合体
である、方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 6 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 6 3】

図3に示す一実施形態において、粉末が圧密されて原料が形成される。この粉末はB M Gの元素を含み、粉末の元素は、B M Gのものと同じ重量パーセントを有する。この粉末は、粉末形状のB M Gを含み得る。この粉末は、B M Gの複数の元素の複合体又は合金を含み得る。この粉末は、結合剤と共に圧密され得る。結合剤は、粉末の融解温度で蒸発する材料、B M Gの元素の1つ（例えばB M GがS nを含む場合、S n粉末は結合剤として機能し得る）、又は、B M Gの複数の元素の複合体若しくは合金であり得る。一実施形態において、粉末はシース内に圧密されて原料を形成し、このシースは粉末の融解温度で溶融しない。